

令和6年度地域連携推進会議

- 1 日 時 令和7年2月22日(土)
9時30分～10時30分
- 2 場 所 ビビエンテまえばら
- 3 参加者 前原町1町内会長 川口通氏、同左 副会長 田口和則氏、塩浜勇氏、
ライオンズファミリーホーム施設長 井上朱美氏、
ビビエンテまえばら利用者 前田健治氏、
同左利用者母 志水氏、同左管理者 大西隆文
- 4 内 容 当地域での交流の持ち方について
 - 川口氏より
まずは話ができる関係になることが交流の始まり。
第1第3日曜に室内小学校のグラウンドでしているGL(グランドゴルフ)、毎月曜のダーツや第2第4の輪投げへの参加に参加してもらってお遊びのような気持ちでふれあいの機会を作っていってほしいと思っています。
この地域は高齢化が進んで高齢者の平均年齢が80才を超えている。
 - 塩浜氏より
グループホームが自治会の活動にどのような参加が可能なのか。昨年度は喜楽館で観劇会をしました。今後どのような企画ができるでしょうか。
 - 田口氏より
お互いに顔を合わせる機会があれば、少しずつ輪を広げることができると思います。まず、知ることが大切だと思います。
 - 井上氏より
施設では夏祭りをして、地域とのつながりを作ろうとしています。施設の厨房で作った焼きそばや唐揚げなど安く売るので来ていただければと思います。
室内小学校で働いていたころは、この地域には暖かさを感じていました。青少協やふれまちなどでも活動をされているので参加をしてみるのも関係づくりにはよいかもしれません。
 - 前田氏より
自己紹介。
 - 志水氏より
2月から息子がグループホームの利用を始めました。休みが水木曜日で土日曜日は仕事なので地域の行事への参加は限られますが、前もってわかっていたら休んで参加することもできますのでよろしくお願いいたします。。
 - 大西氏より
グループホームは5名定員中4名が利用中です。4名とも40歳代で皆さん働いておられます。
- 5 まとめ
触れ合う機会を大切にすることから始めることが大切。
地域には複数の活動団体があり、団体ごとで地域交流の行事を計画されているため、行事予定を知ることから始めていく。